

新居紙器 株式会社

段ボールと紙パッケージの
両輪で要望をかなえる

印刷したサンプルパッケージ

海外可
納期
生産力
品質
コスト
オンライン
対応
印刷
対応
業務

業務内容
段ボールと紙パッケージで
小ロット製造に対応

段ボール事業と紙パッケージ事業の両輪でパッケージ製造を展開する。他社が手がけることの少ない極小・小ロットの多品種生産を低価格・短納期で製造している。「受けた依頼は断らない」をモットーに、「細かな作業が発生する仕事なども積極的に引き受ける。新居慶二取締役は「単に物を入れるためだけではなく、顧客の「想い」を実現するパッケージの製造に努めている」と語る。



段ボールと紙を使ったパッケージ

強み
2種類の箱の二貫生産で
デザインの微調整も容易に

一般的に製造会社が別々である段ボール製品と紙パッケージ製品の両方を自社内で製造しており、梱包・輸送用の外箱と店頭陳列や販売時に使う内箱を同時に提供できるのが特徴だ。さらに金や銀の図柄を表面に入れる「箔押し」加工にも対応する。専門業者に外注するのが一般的な工程を社内で行うことで細かなデザインの調整に対応しやすく、高級感やオリジナリティーを演出したい顧客に好評だ。また、この機械を独自で使用改良し、箱本体製造の「抜き」の機械としても活用している。営業担当者はユーザーの要望に応えるパッケージの提案を行い、図面作成などの設計や製造機械の操作ができる技術力も備えており、きめ細やかで迅速な対応に自信を持つ。

事業内容
紙パッケージ事業の
拡大で基盤を強化

まだ規模の小さい紙パッケージ事業を、段ボール事業に次ぐ第2の柱として築き上げる方針だ。現状の外注製品を内製化して利益率を改善し、多品種・小ロット生産を短納期・低価格で提供できることをアピールして売上増加につなげる。平成26年11月により精度の高い印刷機を八尾市の工場に導入。完成品に限りなく近い印刷後サンプルの無償提供ができ、完成時の形状や色合いを事前に確認可能で、色違い製品も価格の上乗せなしで受け付ける。名刺やショップカード、タグなど付属品にも対応できる。3年後には八尾工場に新たな加工機械も導入予定で、紙パッケージ事業の完全内製化を目指す。

今後の
展望
デザイン力を高めて
小ロット需要を獲得

紙パッケージ事業の拡大とともにデザイナーや専門の営業担当者を新規採用予定だ。デザイン提案から形状開発、生産加工まで自社内で一貫して行っていく。今後、ホームページを開発予定で、問い合わせの窓口を増やして新規開拓を図る。当面は小型パッケージに特化予定で、菓子店などからデザイン性の高い小型箱の需要を取り込む。小ロット対応が得意な点を生かし、将来はネット店舗や不特定多数の個人からの受注を視野に入れる。

COMPANY PROFILE

新居紙器株式会社

大阪26

当社の
歴史

昭和22年4月に個人創業し、昭和30年5月に新居商店として設立しました。昭和46年に八尾工場を完成し、社名も新居紙器に変更、段ボール製品のメーカーとなりました。昭和48年に本社を、平成7年に八尾工場を増設築しています。平成21年8月には紙パッケージ事業を開始しました。平成26年4月には大阪府より経営革新計画の承認を受け、新しい事業の柱として育てる計画です。

当社では単に物を入れる為だけではなく、お客様の「想い」を実現するパッケージの製造に取り組んでいます。

代表取締役社長 新居 章良さん



■主な事業内容
段ボールケース製品と紙パッケージ製品の製造・加工販売

■主な取引先(納入先)
アパレルメーカー、食品メーカー、文具メーカー、洋菓子店

住所/〒540-0025
大阪市中央区徳井町1-1-6
TEL/06-6943-6631
FAX/06-6943-6637
創業/昭和22年4月
設立/昭和30年5月
資本金/1,500万円
従業員/24名

http://www.arai-shiki.co.jp